

日本から世界へ ヘルスプロモーションセミナー2011

第3回国際学会で発表するための講習会 ：英文抄録の作成方法のこつ

日本国内において、最近ではヘルスプロモーションや予防医学分野の活動・研究が盛んですが、国外への発信は限られている状況にあります。最も早くすすむ高齢化、激増する生活習慣病、多い自殺、高い喫煙率、小さい健康格差、など特徴がある我が国で行われる様々な対策は、世界から見ても関心の高いものになるはずですが。

2009年幕張で行われたAPHPE（アジア太平洋ヘルスプロモーション健康教育学会）に参加された方もいらっしゃると思います。次回第2回は2012年5月に台湾で予定されており、抄録締切が1月15日に迫っています。国際学会での発表となるとしり込みしてしまう…という方も多いと思います。そこで今回抄録の締め切り前に、「国際学会で発表するための講習会」を開催することになりました。健康教育・ヘルスプロモーション・予防医学分野の国際学会発表に興味ある多くの方のご参加をお待ちしております。



第20回ジュネーブの世界会議



ソーシャルアクティビティの様子



IUHPEホームページ
<http://www.iuhpe.org/>

<第2回 APHPE アジア太平洋ヘルスプロモーション健康教育学会>

- 会期：2012年5月4日～6日
- 会場：台湾
Fu Jen Catholic University in Taiwan
- メインテーマ：
Empowerment for Healthy Settings
- 一般演題締切り：1月15日
- 学会詳細ホームページ
http://www.nsha.org.tw/aphpe_web/

日時：12月16日（金）18時30分～21時

場所：順天堂大学 6号館3F 看護学部サテライト教室

<http://www.juntendo.ac.jp/info/access/index.html>

<講演>

1、国際学会に参加しよう！IUHPE・APHPEの楽しさ

順天堂大学医学部総合診療科准教授・

IUHPE NPWP JAPANリエゾンオフィスディレクター 福田 洋

2、国際学会で発表するための英文抄録の作成方法のこつ

順天堂大学医学部総合診療科准教授 横川博英

3、国際学会で発表するためのミニマム統計学

獨協医科大学医学部公衆衛生学講座准教授 春山康夫

4、経験者の声～私はこうして発表しました

明治安田厚生事業団体力医学研究所 甲斐裕子

明治安田厚生事業団体力医学研究所 江川賢一

NTT東日本関東病院 藤林和俊

参加費：無料 定員：先着50名 対象：国際学会発表を考えるあらゆる職種の方々

申込み：JAPANリエゾン事務局 福田 (hiro----@kt.rim.or.jp) まで所属、氏名、職種、国際学会発表経験（あり・なし）をメールして下さい。